

あい☆言葉 雪の日の出来事

“冬”といえば“雪”を連想する方も多いのではないのでしょうか？ 私もその一人です。

(このあい通信をお届けする頃には、既に冬が終わっているかもしれませんが…)

このあい通信を読んでくださっている皆さんの場所では、この冬に雪は積もりましたか？ 私がこの原稿を書いている宇都宮は、この冬 2 回目の積雪があったばかりです。今年例年よりも雪が少なく感じます。

反対に、場所によっては記録的な積雪があったところもありますね。私の学生時代の友人が富山県に住んでいるのですが、「今年は雪が多くて、毎日雪掻きが大変だよ～！」と言っていました。降らないのも寂しいですが、降りすぎても困りものですね。

さて、今回は雪の日に体験した出来事をお話したいと思います。

以前、関東で大雪になった日のこと、私は友人と車で出かけていました。さいたま新都心まで行く用事があって、私の運転で高速道路を走っていました。栃木県内はさほど雪が降っていなかったのですが、「関東は雪が降ると言っていたけど、大した事ないじゃないか?!」とタカをくくっていたのですが、埼玉県に入ると天気が一変、もの凄い降雪に見舞われました。運転席からの視界も悪く、かなりスピードを落とさないと走れないといった状況で、「すごいぜ埼玉!!」なんて車の中ではしゃいでいました。

その時までは良かったのです…。

その後、高速道路を降りて一般道を進み、一路さいたま新都心へ。もちろん、雪が降っていますので車間を空けて安全運転です。やがて大きな橋が見えてきました。坂を登り、橋を渡り、坂を下ったところで、信号が赤だったのでブレーキを踏みました。ところが、

「やべえ、止まらねえ!!」 (←友人曰く当時の私が絶叫した言葉だそうです。)

下り坂で路面の状態も悪かったため、ブレーキは早めに踏んだつもりでした。しかし、タイヤがロックしてしまったのか、目一杯ブレーキを踏んでも車は慣性の法則に従って滑っていくばかり。更に、私の日頃の行いが悪いのか、私の目の前には信号待ちをしている車がいたので。私はとっさにクラクションを鳴らしつづけました。「頼む、気づいてくれ!!」と願わんばかりに…。

すると、私の思いが通じたのか、前の車が少しずつ前進してくれたのです。最終的には、ちょうど車 1 台分くらいの距離を前進してくれて、その空いた距離で何とか私の車を止める事ができました。その瞬間もの凄い脱力感と安堵の気持ちで一杯でした。前の車は春日部ナンバーのセダンだったのですが、これほど春日部ナンバーの運転手さんに感謝した事はありません。それから、『超』が付くくらいの安全運転で無事さいたま新都心に着きました。

本当に危なかったです。

今でも当時を思い出すと冷や汗が出てきます。

皆さんも雪道では普段以上に注意を払って、安全運転で走行してください。

